



し尿処理施設からの放流水を水槽にため、金魚を育てている  
＝身延町下田原



山梨県身延町にある「峡南衛生組合」様の EM 活用の取り組みが、2 月 14 日付山梨日日新聞朝刊(23 面)に取り上げられました。

同組合では、し尿処理施設の他に焼却場や生ゴミ堆肥化などにも EM を活用しており、その取り組みはブログでも発信しております。是非ご覧ください。

■峡南衛生組合ブログ

<http://kyonaneisei.sblo.jp/>

◆◆◆お知らせ◆◆◆

■当 NPO の代表者が変更しました

2 月 23 日(土)、第 14 回通常総会を開催し、すべての審議事項が全会一致で承認されました。

当NPO発足以来 15 年間代表を務めた浜淵隆男氏(前運営委員長)から退任の申し入れがあるとともに、新たに比嘉照夫氏(前会長)が理事長に就任しました。

また役員と呼称を「運営委員」から「理事」に変更すると共に、比嘉教授が理事長に就任したことを受け、会長職を廃止いたしました。

4 月に発行する会報(U-ネット通信)にて、新理事長就任あいさつを掲載する予定です。

■ホームページにダウンロード機能を新設

昨年末にリニューアルした当 NPO のホームページにパンフレット等のダウンロードページを新設しました。

これまで当 NPO が発行してきた日本橋川浄化、奈良東大寺の取り組み、引本湾藻場再生事業などのパンフレットが閲覧できるようになっています。ご活用ください。

■イベントのご案内

家族で楽しむ健康セミナー「微生物が元気を育てる」

【日 時】 3 月 9 日(土) 13:00～

【場 所】 よみうりホール

【主 催】 EM 友の会

※入場無料ですが事前申込制となっております。参加ご希望の方は、主催者までお電話でご確認ください。

EM友の会事務局(TEL052-243-3758)

## 峡南衛生組合 リサイクル提案

い。さらに、ミネラル分も豊富という。

峡南衛生組合(遠藤稔所長)は、し尿処理施設から放流した水で金魚を飼育している。組合によると、放流水は飲めるほど純度が高いといい、し尿処理水の活用は県内の施設でも珍しいという。今後、放流水で生き物を育てる楽しみ方などを、広く地域住民に提案することも考えている。

をを経て施設から放流した水は、これまですべて富士川に流れていたが、「何かにリサイクルできないか」と考え、放流水の一部で生き物を飼うことを思いついた。

また今年は、別の水槽を設け、スポンを飼うことも計画している。金魚たちはよく育ち、生き生きと泳いでいるといい、「放流水が水生生物たちにとって害はないどころか、健全なものだと実証できている」(同組合)という。

組合のし尿処理施設では、身延、早川両町と、市川三郷町の一部のし尿と浄化槽汚泥を毎日30トほど処理している。微生物によるし尿や汚泥成分の分解、ろ過などの過程

加え、組合が販売している発酵肥料を与えている。し尿と汚泥を処理する過程で、水質改善に有効なEM菌の入った液体を注入している効果もある。放流水は透明で臭いもない。

田畑に放流水をため、魚を飼えば、高齢者らの生きがいにもつながるはず。これからのいろいろなアイデアを出して、放流水を地域活性化に役立てたい」としている。

## し尿処理水で金魚すいすい

成分の分解、ろ過などの過程

液体を注入している効果もある。放流水は透明で臭いもない。

田畑に放流水をため、魚を飼えば、高齢者らの生きがいにもつながるはず。これからのいろいろなアイデアを出して、放流水を地域活性化に役立てたい」としている。